

故 事 成 語 ②

年 組 氏名 (

次の①～⑧の故事成語にあてはまる意味を⑦②から選びなさい。
 また関連のある故事を「あ～く」の中から選びなさい。

テ
 ス
 ト
 ①

解
 答

意
 味

故
 事

10点×8

得
 点
 /80

①	意味 (㊦) 故事 (お)
四面楚歌	

㊦ 欠点がなく
完全なこと

あ

馬が逃げたが、名馬をつれて
戻ってきた。その馬に乘つた息
子は骨折したが、戦争に行かず
にすんだ。

②	意味 (㊥) 故事 (う)
漁夫の利	

㊥ 周りを敵に
囲まれること

い

宝である「和氏の璧」を別の国
に奪われそうになったが、無事
に国まで持ち帰った。

③	意味 (㊣) 故事 (き)
推敲	

㊣ 他人のどんな言動も
自分を向上させる助
けになること

う

シギ(鳥)が貝をつつくと貝は
くちばしをはさんで互いに争つ
ていた。その間に漁師が両方を
捕まえた。

④	意味 (㊡) 故事 (え)
五十歩百歩	

㊡ 2人が争っている間
に、別の人が得をす
ること

え

戦いの最中に五十歩逃げた兵士
が百歩逃げた兵士を笑ったが、
逃げたことには変わりはない。

⑤	意味 (㊠) 故事 (い)
完璧	

㊠ 人の幸、不幸は
予測できないこと

お

楚の王が敵軍に囲まれたとき、
四方から故郷の歌が聞こえた。
それを聞いて味方が寝返つてし
まったと思ひ絶望した。

⑥	意味 (㊧) 故事 (く)
他山の石	

㊧ 詩や作文を
練り直すこと

か

中国の試験で優秀者の答案
(巻)を一番上に置いた。

⑦	意味 (㊢) 故事 (か)
圧巻	

㊢ たいしてちがいのな
いこと

き

「僧は推す月下の門」という詩
の「推す」を「敲く」とするか
迷つていいと、詩の名人の韓愈
に敲くが良いやと問われた。

⑧	意味 (㊤) 故事 (あ)
塞翁が馬	

㊤ 最も優れている
部分

く

よその山の粗悪な石でも、宝石
を磨くのに役立つ。

故事成語②

テスト②

次の①～⑧にあてはまる故事成語を書きなさい。

すいこう

推敲

詩や作文を
練り直すこと

意味

故事

たざんのいし

他山の石

他人のどんな言動も
自分を向上させる助
けになること

さいおうがうま

塞翁が馬

人の幸、不幸は予測
できないこと

ごじっぽひゃっぽ

五十歩百歩

たいして
ちがいのないこと

しめんそか

四面楚歌

周りを敵に
囲まれること

あっかん

圧巻

最も優れている部分

かんべき

完璧

欠点がなく
完全なこと

ぎよふのり

漁夫の利

2人が争っている間
に別の人が得をする
こと

「僧は推す月下の門」という詩の「推す」を「敲く」とするか迷っている」と、詩の名人の韓愈に敲くが良

よその山の粗悪な石でも、宝石を磨くのに役立つ。

馬が逃げたが、名馬をつれて戻ってきた。その馬に乗った息子は骨折したが、戦争に行かずにすんだ。

戦いの最中に五十歩逃げた兵士が百歩逃げた兵士を笑ったが、逃げたことには変わりはない。

楚の王が敵軍に囲まれたとき、四方から故郷の歌が聞こえた。それを聞いて味方が寝返ってしまったと思

中国の試験で最優秀者の答案（巻）を一番上に置いた。

宝である「和氏の璧」を別の国に奪われそうになったが、無事に国まで持ち帰った。

シギ（鳥）が貝をつつくと貝はくち

得点 /80
10点×8

故事成語②

テスト③

次の①～⑧にあてはまる故事成語を書きなさい。

ぎよふのり

漁夫の利

2人が争っている間に別の人が得をすること。

たざんのいし

他山の石

他人のどんな言動も自分を向上させる助けになること。

さいおうがうま

塞翁が馬

人の幸、不幸は予測できないこと。

すいこう

推敲

詩や作文を練り直すこと。

ごじつぽひやつぽ

五十歩百歩

たいしてちがいのないこと。

しめんそか

四面楚歌

周りを敵に囲まれること。

あつかん

圧巻

最も優れている部分。

かんぺき

完璧

欠点がなく完全なこと。

意味

10点×8

No. () 年 組 氏名

得点 /80